

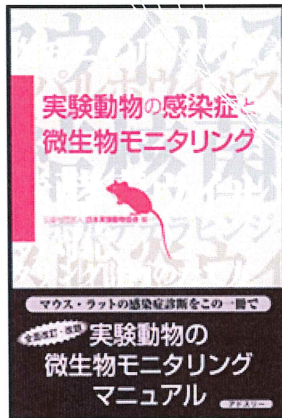
実験動物の感染症と微生物モニタリング

公益社団法人 日本実験動物協会 編

2015年4月発売 価格(本体6,800円+税)

ISBN978-4-904419-56-4 C3047

発行: 株式会社アドスリー 発売: 丸善出版株式会社



マウス・ラットなどの感染症診断を理解できる「実験動物の微生物モニタリングマニュアル」の全面改訂版。培養、血清反応、鏡検・PCR法を紹介。ウイルス・細菌・寄生虫は分類・性状、宿主・病態、診断より見開きで構成

- I. 微生物モニタリングの意義 II. モニタリング計画のたて方 III. 検査手技 1. 検査材料採取手順 1-1. 臨床症状の観察 1-2. マウス・ラット・ハムスターからの検査材料採取手順 1-3. モルモット・ウサギからの検査材料採取手順 2. 細菌同定法 3. 血清反応 4. 寄生虫検査法 5. 遺伝子増幅法 IV. 微生物汚染確定後の対応 V. モニタリング対象微生物のプロファイル 1. ウイルス 1) センダイウイルス 2) マウス肝炎ウイルス 3) 唾液腺涙腺炎ウイルス 4) エクトロメリアウイルス 5) ウサギポックスウイルス 6) ハンタウイルス 7) リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス 8) マウスアデノウイルス 9) その他のウイルス感染 マウスロタウイルス 10) マウス肺炎ウイルス 11) パルボウイルス 12) マウスノロウイルス 13) マウス脳脊髄炎ウイルス 14) マウスレオウイルス 3型 15) 乳酸脱水素酵素ウイルス 2. 細菌・真菌 1) 肺マイコプラズマ 2) ティザー菌 3) サルモネラ 4) 腸粘膜肥厚症菌 5) 肺パスツレラ 6) パスツレラ 7) ネズミコリネ菌 8) 気管支敗血症菌 9) 肺炎球菌 10) 溶血連鎖球菌 11) 緑膿菌 12) 黄色ブドウ球菌 13) ヘリコバクター 14) 仮性結核菌 15) ボルデテラ ヒンジイ 16) 皮膚糸状菌 17) ニューモシスチス 3. 寄生虫 1) 消化管内原虫 2) 蟻虫 3) 外部寄生虫 4) コクシジウム